

2022年の幕開けコンサート！フェニーチェ堺での「ほんわかピアノ♪」は気鋭若手ヴァイオリニスト新井貴盛さんをゲストに迎え、益々盛りだくさんなプログラムをお届けいたします。新春のひと時、音のシャワーと楽しいお話で、ほんわか英気を養って頂けると嬉しいです。フェニーチェ堺でお待ちしています♪



<プロフィール>



©Shigeto Imura

【關谷範子(Noriko Sekitani)】ピアノ

大阪府立三国丘高等学校、神戸女学院大学音楽学部音楽学科ピアノ専攻卒業。ポーランド国立ワルシャワ高等音楽院(現ショパン音楽大学)研究科修了。高谷倫子、山田康子、山田富士子、A.ドゥツケヴィチ、R.スメンジャンカの各氏に師事。日演連推薦演奏会、大阪フィルハーモニー交響楽団との協演他、ショパン以前から現代ポーランド音楽の演奏を日本及びポーランドの各地で行う。2007年ワルシャワ フィルハルモニアにおける“ジャパンウィーク ピアノフェスティバル”、2019年モスクワ音楽院大ホールに於ける第21回国際音楽祭「日本の心」シリーズオープニングコンサート、宗次ホール・ランチタイムコンサート等に出演。2008年より演奏の傍ら個性的なコンサートのプロデュース(「田中正也プロコフィエフピアノ曲全曲演奏会」ほか)を手がけ高評を得る。



©Shigeto Imura

【田中正也(Masaya Tanaka)】ピアノ

福岡市生まれ。15歳で単身モスクワへ。クラスヌイ・ディプロマを授与されモスクワ音楽院を卒業後、ローム・ミュージック・ファンデーションより奨学金を得てモスクワ音楽院大学院修了。カントゥ国際ピアノコンチェルトコンクール(伊)第1位・リスト特別賞、イル・ド・フランス国際ピアノコンクール第3位(仏)ほか受賞多数。国立サンクトペテルブルグカペラ交響楽団・東京フィルハーモニー交響楽団等と協演。2008年始動したプロジェクト「田中正也プロコフィエフピアノ曲全曲演奏シリーズ“エクスタイルスィヤ”」はモスクワでも高評を得て、プロコフィエフのスペシャリストとして期待されている。2010年名古屋・宗次ホールで始めた「魔法のピアノ♪」は独創的な選曲・超人的な演奏・楽しいお話で人気となり全国に広がっている。2019・20年にはエルミタージュ劇場での演奏会ほか、2019年ティマーキン記念国際ピアノコンクールの審査員を務める等、ロシアでの音楽活動も著しく飛躍し、5月には沿海州立太平洋交響楽団と、9月にモスクワ音楽院大ホールに於ける第21回国際音楽祭「日本の心」シリーズのオープニングコンサートに招聘されモスクワ音楽院交響楽団と協演。2019・20年在ロシア日本大使公邸に招かれ演奏。2020年10月アクロス福岡シンフォニーホールにての舞台芸術体験事業で九州交響楽団と再協演。レクチャーコンサート・マスタークラス・教育的講演会のほか、ナミ・レコードよりリリースされた「田中正也 プレイズリスト&ショパン」など5枚のCDは音楽誌各誌で絶賛され、「レコード芸術」特選盤などに選ばれる。日本演奏連盟会員。大阪芸術大学演奏学科講師。

田中正也公式ホームページ <http://www.masayatanaka.jp>



©Palpitfestival

【新井貴盛(Takamori Arai)】ヴァイオリン

東京藝術大学を首席で卒業、アカンサス音楽賞を受賞。第一回イブラ・グラント・アワード・ジャパンで審査員全会一致の優勝を果たし、審査委員長を勤めたデヴィ・スカルノ夫人との対談が弦楽器雑誌サラサーテにて取り上げられるなど、注目を集める。米・カーネギーホール、伊・シチリア島で開催される音楽祭に出演予定。名古屋市出身。6歳より鈴木メソードにて宮島克実氏の元でヴァイオリンの手解きを受けた。その後、名古屋音楽学校にて市川絵理子氏の元で学び、私立南山高校を経て東京藝術大学に進学。澤和樹、ダグラス・ポストック、高関健の各氏の指揮のもと芸大フィルハーモニアと共演するなど、何度もソリストとして選出された。これまでに清水高師、エドワード・シュミダー、ピエール・アモイヤル、エスター・ペレーニ、ヤン・ソンシクの各氏に師事。米・テンプル大学に奨学生として留学し、帰国後、東京藝術大学大学院を卒業。日本音楽コンクール入選、バルトーク国際ヴァイオリンコンクールセミファイナリスト他、受賞歴多数。2014年度、ヤマハ音楽振興会音楽活動支援事業に選出される。2019、2021年米・イバルピティ国際音楽祭に出演。千住明氏との共演など、積極的な演奏活動をする一方、一般財団法人地域創造より派遣され、小中学校でのアウトリーチ活動も行っている。東京藝術大学COIアドバイザー、武蔵野音楽大学大学院属託演奏員。

